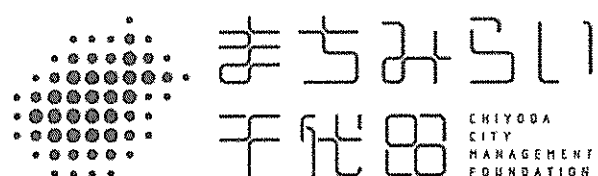


平成18年度 事業報告書 収支決算書



財団法人 まちみらい千代田

目 次

I 平成18年度 事業報告書

1	住む ～都心居住と魅力ある生活環境の創造～	1
2	働く ～地域産業の振興と企業・商店街の活性化～	10
3	楽しむ・賑わい ～産業観光を通した楽しみと賑わいの創出～	13
4	情報・交流 ～双方向型の情報の共有と交流の促進～	17
5	遊休施設の活用推進 ～街づくりハウス“アキバ”の活用～	22
6	借上型区民住宅等の管理運営	23
7	理事会・評議員会・監査	24

II 平成18年度 収支決算書

1	総括表 貸借対照表総括表 正味財産増減計算書総括表 財務諸表に対する注記 財産目録 収支計算書総括	28
2	一般会計 貸借対照表 正味財産増減計算書 収支計算書	34
3	住宅管理事業特別会計 貸借対照表 正味財産増減計算書 収支計算書	40
4	経営基盤安定基金特別会計 貸借対照表 正味財産増減計算書 収支計算書	44
III	平成18年度 監査報告書 監査報告書	46

Ⅰ 平成18年度 事業報告書

1 住 む

～都心居住と魅力ある生活環境の創造～

I 良好で快適なマンション居住への支援

千代田区の主要な居住形態として定着しているマンションの良好な維持・管理や適切な改修・建替えを推進し、良質な住宅ストックとしていくために、居住者や管理組合等の自主的・主体的な取組みの支援を行いました。

また、マンション居住者と周辺地域コミュニティの交流活動を支援しました。

(1) マンションの良好な維持管理の支援

1, 454, 956円

(当初予算額 1, 997, 000円)

マンション相談	マンション管理組合や居住者が抱えるマンションに関する悩み・相談を、財団職員が対応するとともに、「千代田マンション管理交流会」と協力し、専門家による個別相談会を、4月から3月まで実施しました。 ・相談件数 104件（窓口：35件、電話：69件） ・マンション個別相談会（会場：千代田会館） 10回（8月から毎月第3金曜日開催、相談件数10件） ※ 主な相談内容 ①建物維持管理及び建替え ②防犯機器等
マンション管理セミナー	マンションの適切な維持・管理等の促進を支援するため、マンション管理組合関係者及び居住者等を対象に、2回開催しました。 ・開催日：平成18年5月20日（土） 会 場：千代田会館1階 千代田職員研修室 テーマ：「記者から見たマンション管理」 参加者：44名 ・開催日：平成19年2月24日（土） 会 場：千代田会館1階 千代田職員研修室 テーマ：「結露を防いで健康に暮らす」 参加者：44名
マンション通信ちよだ	日常のマンションの維持・管理に関する管理組合の自主的・主体的な取組みを支援するため、マンションの維持管理やマンション生活に役立つ身近な情報誌を発行しました。 ・年間3回発行（7月・11月・3月） ・発行部数 2, 200部、壁新聞350部 ・配付対象 管理組合305棟、賛助会員等

マンション管理組合登録制度	マンションの維持・管理や改修・建替えについて、適切な支援・情報提供を行うための基礎資料とするための管理組合登録の促進を行いました。 ・ 18年度新規登録件数 38件（総計168件）
千代田マンション管理交流会	マンション管理組合相互のコミュニケーションを図り、日頃から抱えるマンションの管理運営に係わる知識及び情報を共有することを目的に、平成16年12月に発足した「千代田マンション管理交流会」の活動を支援しました。 ・ 会員数76会員（管理組合会員35名、個人会員40名、賛助会員1名） 活動実績 ・ 毎月第3金曜日 役員会及び個別相談会開催 ・ 5月20日 定期総会及び交流会開催 ・ 9月11日 交流会代表「区民集会」に出席 ・ 11月12日 総合防災訓練（町会と合同） ・ 11月25日 施設見学会実施（福島第二原子力発電所） ・ 12月15日 交流会役員「区議との意見交換会」に出席 ・ 2月24日 セミナー及び交流会 ・ 3月31日 防災施設見学会実施

（２）マンションの計画修繕・建替えの支援 2,910,000円
（当初予算額 5,000,000円）

マンション計画修繕調査費助成	マンションの長期にわたる安全・安心と財産保全を図るため、管理組合等が計画的に修繕を行うための調査費の一部を助成しました。 助成件数 7件 ・ 六番町（S57年竣工、21戸） ・ 九段北（S53年竣工、5戸） ・ 二番町（S44年竣工、15戸） ・ 二番町（S54年竣工、117戸） ・ 二番町（S58年竣工、21戸） ・ 二番町（S55年竣工、14戸） ・ 神田岩本町（S60年竣工、37戸）
マンション建替え等検討調査費助成	築後概ね30年を経過した分譲マンションにおいて、大規模修繕か建替えかを検討する管理組合等に対して、建替え等に係る検討調査費の一部を助成するものですが、平成18年度は対象とするマンションの申請がありませんでした。

(3) マンション居住者のコミュニティ推進と安全で安心な生活の確保

4, 259, 500円

(当初予算額 4, 601, 000円)

区内のマンション居住者同士や管理組合間のコミュニティを構築し、マンション居住者が、町会やまちづくり団体などの周辺地域のコミュニティの輪に積極的に参画できるよう、その活動を支援しました。そのため、防災の観点から、マンション居住者と周辺住民が一体となったマンション防災訓練や防災施設見学会等を実施し、コミュニティの活性化を図りました（実施内容は前述）。

また、マンションの防犯性を向上し、安全・安心まちづくりを推進するため、マンションの管理組合が、防犯対策として設置する防犯カメラシステム、センサー付ライトの設置に要する費用の一部を助成しました。

[助成件数：17件]



▲防災施設見学会（仮設トイレの設置）

(4) マンション実態調査（区よりの受託事業）

1, 276, 905円

(当初予算額 0円)

今後のマンション対策に資することを目的に、財団職員によるマンション全棟訪問調査を実施しました。また、全棟訪問の際には、マンション諸施策、助成制度等の普及に努めました。

[調査内容]

① マンション全棟訪問調査（財団職員により実施）

- ・ 実施時期：平成18年5月末から6月末まで
- ・ 対象マンション477棟：分譲マンション308棟、賃貸マンション169棟

② マンションカルテ等更新調査委託 1, 239, 000円

- ・ 期 間：平成19年2月14日から平成19年3月20日

Ⅱ 魅力ある居住・生活環境の整備・促進

地域でのまちづくりの動きに対し、相談会やまちづくりアドバイザーの派遣を行い、初動期における事業の促進を図りました。また、事業の具体化に向け、共同化等の事業母体への活動費の助成やプランづくりへの助成等を行いました。

(1) 共同建築等の促進

1, 270, 670円

(当初予算額 6, 017, 000円)

①共同建築の推進

二人以上の土地所有者等が、共同で住宅を含む建物を建築する場合において、初期段階での勉強会、具体的計画の作成支援、さらに建設費の一部助成など、事業の進捗に応じて必要な支援を行い、建替え促進を図りました。

また、区内で建物の共同建築や個別建替えを計画している区民に、共同建築のメリット、各種支援、助成制度を紹介し、建替えの促進を支援しました。

・共同建築案件の進捗状況（平成19年3月現在）

地 区	概 要
麴町四丁目	・地権者12名の共同化で、住宅65戸を含む建替えが決定しました。 ・再開発、共同建築等の推進組織助成制度で支援しています。（平成18年度が最終年度）

・その他の相談

相談件数 19件（窓口相談 14件・訪問相談 5件）

②個別建替えの支援

地区計画決定区域内の建替えを促進するため、個別建替えの支援を行いました。また、地区計画による建替えルールの説明や助成制度を紹介しました。

なお、必要に応じて（社）東京都建築士事務所千代田支部などを紹介しました。

- ・個別建替 1件（九段南四丁目）
- ・相談状況 窓口相談等 6件

③まちづくりのための助成

共同建築等の促進を図るため、以下の制度、事業により支援を行いました。

- ・共同建築等の建替え支援の取組状況（平成19年3月現在）

事業・制度		概 要
初動期・計画調整期	①建替え検討プラン提供	住宅を含む共同建築や地区計画区域内で住宅を含む個別建替えを考えている土地所有者に対して、建替えをより具体的・現実的なものとして検討してもらえよう、建築計画や資金計画等の支援を行いました。 ・麴町二丁目（検討中）
	②まちづくりアドバイザー派遣	共同建築等をめざす土地所有者等に対して、構想、企画、計画等の各段階において、まちづくりの専門家を派遣し、専門的・技術的側面から支援を行いました。 ・麴町三丁目 他6件
	③再開発・共同建築等推進組織助成	再開発や共同建築等をめざす団体に対して、調査研究費等の一定の助成を行いました。 ・麴町四丁目（最終年度）
建設事業期	④都心共同住宅供給事業（都心共同） ⑤建築物共同化住宅整備促進事業（ミニ優良）（区所管制度）	共同建築により良好な住宅を整備し、併せて市街地環境の整備、改善に寄与する場合に建設費の一部を助成する制度の適用について検討を支援しました。 ・九段南二丁目（ミニ優良・検討中）
	⑥仮住居・仮店舗費助成（区所管制度）	地区計画決定地区内での建替えや共同建築の際に、仮住居・仮店舗に要する費用の一部を助成することによって、共同建築等の促進を図りました。 ・助成件数2件（仮住居費・最終年度）

(2) 地域活性化プログラムの策定

0円

(当初予算額 4, 292, 000円)

昨年度に実施した内神田・錦町地域における活性化プログラムの検討結果を踏まえ、研究会に参加していた地域住民主体の「内神田家守研究会」が発足しました。

今年度は、千代田まちづくりサポート事業にてこの研究会へ助成を行い、地域を主体とした活動を支援しました。

Ⅲ 自主的なまちづくり活動団体への支援

(1) 家守塾の実施

2, 979, 994円

(当初予算額 3, 048, 000円)

中小ビルの空き室・空きビル対策として、ビルオーナーに代わってプロパティマネジメントやタウンプロデュースを行う現代版家守を養成する「家守塾（塾長：伊藤滋早稲田大学教授）を開催しました。

経験豊富な講師陣を招き、講義の他、神田地区を対象とした実践的なワークショップを全12日間の日程で実施しました。

今年度は2回目となりましたが、全国から22名の塾生が集まり、家守に必要なスキルを総合的に習得することができました。また、塾生同士の交流も深まり、千代田のまちづくりに対する意見交換も活発に行いました。



▲「家守塾2006」講義の様子

「家守塾2006カリキュラム」

日程	時間	内容
10/20(金)	10:30-12:00	オリエンテーション
	13:00-14:30	講座① 基調講演「東京の都心再生」(特別公開講座) 講師：家守塾塾長 伊藤滋(早稲田大学特命教授)
	14:45-16:15	ワークショップ① 課題説明とグループ分け
	16:30-18:00	ワークショップ② グループ別作業
10/21(土)	10:30-12:00	講座② 「エリアマネジメント事例研究…千葉県柏市、交通結節点を生かしたまちの資産価値向上」 講師：石戸新一郎(柏駅周辺イメージアップ推進協議会相談役)
	13:00-14:30	講座③ 「地域健康診断…千代田区健康状態を客観的に把握し、地域の課題を抽出する」(特別公開講座) 講師：大西達也(日本政策投資銀行首都圏企画室課長)
	14:45-16:15	ワークショップ③ グループ別作業
	16:30-18:00	ワークショップ④ グループ別作業
10/27(金)	10:30-12:00	ワークショップ⑤ グループ別作業
	13:00-14:30	講座④ 「地域潜在資源の発掘と継続的まちづくり…地方都市のケーススタディ」 講師：西村幸夫(東京大学教授)
	14:45-16:15	講座⑤ 「エリアマネジメント事例研究…千葉県香取市、行政の行うべき役割」 講師：椎名喜予(香取市建設経済部商工観光課商工観光班長)
	16:30-18:00	ワークショップ⑥ グループ別作業
10/28(土)	10:30-12:00	講座⑥ 「エリアマネジメント事例研究…博多天神のエリアマネジメント」 講師：後藤太一(福岡新都心開発株式会社)
	13:00-14:30	ワークショップ⑦ まちづくりデザインゲーム 講師：志村秀明(芝浦工業大学助教授)
	14:45-16:15	ワークショップ⑧ まちづくりデザインゲーム
	16:30-18:00	ワークショップ⑨ まちづくりデザインゲーム
11/10(金)	10:30-12:00	講座⑦ 「エリアマネジメント事例研究…東京都心部、大丸有地区のエリアマネジメント」 (金城敦彦/大丸有エリアマネジメント協会 事務局長)
	13:00-14:30	講座⑧ 「エリアマネジメント事例研究 長野県飯田市、事業の核をもつTMO」 講師：桑原和代(飯田市産業経済部市街地整備推進室長)
	14:45-16:15	ワークショップ⑩ グループ別作業
	16:30-18:00	ワークショップ⑪ グループ別作業
11/11(土)	10:30-12:00	講座⑨ 「家守型不動産有効活用概論…不動産・建物評価から、マーケティング、テナントリーシング、運営企画、エリア価値向上まで」 講師：清水義次(アフタヌーンソサエティ代表取締役)
	13:00-14:30	卒業提案審査会
	14:45-16:15	卒業提案審査会
	16:30-18:00	終了式

（２）千代田まちづくりサポートの実施

5, 494, 029円

（当初予算額 7, 500, 000円）

まちづくりに貢献する自主的市民活動を支援する「第8回まちづくりサポート」を実施。応募総数は17グループとなりました。今年度から導入したトライアル部門（助成金：一律5万円）では、まちづくり活動初動期の3グループが応募。審査の結果、応募した全グループが助成対象となり、助成総額は408万円となりました。

公開審査会により、グループ同士の連携が加速し、互いに協力しながら、千代田のまちづくりに取り組むグループが増えました。

①活動実績

○公開審査会 平成18年 6月17日（土）

○中間発表会 平成18年11月25日（土）

○活動成果発表会 平成19年 3月11日（日）

②助成グループ

部門	団体名	申請回数	助成額 (万円)	テーマ
一般	文化発掘隊	3	33.7	千代田発 こどもまちの記者／発信・発展・再発見
一般	人が愉しむ道づくり	3	28.1	放射27号線の道づくり研究
一般	魁！神田塾	2	43.4	親子一貫 神田っ子育成企画 第2弾
一般	都心の水辺探訪クラブ	2	10.2	神田川・日本橋川の魅力再発見② 川面からみた神田川・日本橋川調査
一般	CAPPS	2	50	千代田区公園アダプト制度を区民の立場からサポートし、広める
一般	区有地活用を考える区民の会	2	12	千代田区の区有財産（主に廃校跡地）の活用を考える
一般	武蔵野美術大学 コミュニケーションデザイン	2	11.6	神田におけるコミュニケーションデザイン
一般	千代田文化会	2	13.3	千代田区を高齢者の楽しい生活の地にしよう
一般	カンダユメラボ	2	38.9	カンダのユメがコラボする
一般	でんでんむし	2	36.7	神田に渡そう『でんでん橋』 ～電大と神田をつなぐ橋～
一般	フレンドシップ千代田	2	15.6	地域に根ざした国際交流

一般	内神田家守研究会	1	35.3	地域不動産関係者の連携によるエリアマネジメントの促進
一般	神保町応援隊	1	39.2	「神保町大好き人間」を神田神保町に結集し、魅力ある元気な街に
一般	i-Residence 構想研究会	1	25	地域共生型の国際居住をめざして
トライ	NPO 法人日本の風 番町価値創造倶楽部	1	5	展示会「描かれた番町・麹町～地図で見る 100 年の 移り変わり～」の開催
トライ	サーキュレイト千代田	1	5	外国人支援による地域活性化 ーお店の翻訳ボランティアー
トライ	まちづくりワン	1	5	犬と一緒にまちづくり



▲ 中間発表会の様子

③「まちづくりサポート通信」の発行

第8回まちづくりサポートの公開審査会の報告として「まちづくりサポート通信 (VOL. 15)」を発行しました。

2 働 く

～地域産業の振興と企業・商店街の活性化～

I 区内企業・商店街などの活性化推進

区内の商店街や商工団体等の活性化を図るために商店街等が実施するイベント等との連携を積極的に図り、集客力向上のための広報支援を実施しました。

また、商店街の皆さんの意見を集約しながら、区内共通で利用可能な集客の仕組みの検討を行いました。

(1) 経営革新支援

979,228円

(当初予算額 3,304,000円)

集合セミナー方式と個別経営支援方式の2つの方式を採用し、区内企業の革新(付加価値と生産性の向上)の支援を行いました。

	項 目	概 要
集合セミナー方式	①オープンセミナー	・ 広く経営に関係するテーマ(意思決定、商品開発、人材育成)について企業経営者を招き、セミナーを開催しました。 ・ 年1回開催/参加: 57名
	②フォローアップセミナー	・ 実務的な内容である公的支援制度活用のセミナーについて専門家を招いて、事業者に対して情報提供を行いました。 ・ 年1回開催/参加: 13名
	③イノベーション・カレッジ	・ 開催せず
個別経営支援方式	④インキュベーション・マネージャー派遣	・ 中小企業基盤整備機構からインキュベーション・マネージャーを招き、創業間もないSOHOやベンチャー企業への個別相談を実施しました。 ・ 年間派遣日数: 40日 ・ 相談企業数: 76社
	⑤1日企業ドッグ	・ 経営支援のため1日コースの経営診断を、中小企業診断士に依頼して行いました。 ・ 年2回開催/診断企業数: 2社

【インキュベーション・マネージャー】・・・ベンチャービジネスを軌道に乗せるまでの事業計画・経営、マーケティングその他の企業全般について援助を行う専門家のこと。

(2) 産業振興情報受発信システムの整備強化・拡充

128,100円

(当初予算額 3,200,000円)

①ビジネス情報プラットフォームChibiz

区内企業の事業PRページである「千代田ビジネス・ネットワーク」の利用を促進し、情報発信を強化しました。

さらに、ビジネスカレンダーでの情報発信量の充実を図り、区内企業等のイベント発信を実現しました。

また、財団主催のセミナー案内や研究会議事録の紹介、「企業探訪」、「モバイル最前線」、「セミナー潜入記」に加え、「ビル賃貸業の研究日誌」、「企業・産業PR施設探訪」、「ちょっと散策日記」のスタッフブログでの情報発信を加え、情報発信量の強化を図りました。

なお、次年度には、千代田day'sとの統合を予定しています。

・アクセス数(07年03月) 65,246ページビュー/月

②メールマガジン

産業振興を図るために、ビジネス情報プラットフォームChibizの更新情報や関連イベント告知のメールマガジンを、月2回合計24回配信しました。配信時はホームページへのアクセス数も増え、相乗効果をあげました。

・読者数 1,107名(3月28日現在)

(3) ビジネスプラザの運営

900,000円

(当初予算額 900,000円)

ちよだプラットフォームスクウェア1階にパソコン、インターネット(無線LAN)、プリンター、コピー、FAX等を利用できるビジネスプラザを設置、運営しました。

なお、利用件数が伸びなかったことから費用対効果を勘案した結果、平成19年3月末日をもってビジネスプラザを閉鎖しました。

・延べ利用件数 205件

Ⅱ 地域産業の振興のための支援

(1) 産業クラスター育成

76,210円

(当初予算額 2,334,000円)

千代田区の特徴ある書籍・出版、電気機器、衣料・繊維、専門士業などを、ITの技術を活用して活性化することを目的とし、千代田区の産業クラスターを育成するために、産業クラスター研究会を開催しました。

大阪からは堂野智史氏、佐渡島からは吉井靖氏と、各地で活躍する方々を講師に招き、産業クラスター研究会を2回開催しました。参加者数：54名

【産業クラスター】……千代田区には書籍・出版企業群、電気機器関連企業群、衣料・繊維企業群、専門士業企業群などのような伝統的に集積した企業群が多数あり、これらの企業群のこと。

(2) SOHO事業者やベンチャー企業の育成

プラットフォームサービス（株）をはじめ、千代田区の地域特性を活かした産業振興や総合的なまちづくりを行う事業者と連携を深め、SOHO事業者に対する情報提供や開催セミナー等のPR支援などを行いました。

(3) 千代田メンバーズ倶楽部創設の検討

千代田にいる、住んでいる人、働いている人、勉強している人、観光や仕事で訪れた人に、「もっと千代田を知ってもらい」、「もっと千代田を楽しんでもらう」、「潤いのある生活づくり」を応援するサービスネットワーク「(仮称)千代田メンバーズ倶楽部」づくりに関する検討を行いました。

3 楽しむ・賑わい ～産業観光を通じた楽しみと賑わいの創出～

I 楽しみと賑わいの創出

(1) 産業観光等の推進

914,088円

(当初予算額 7,000,000円)

①観光まちづくり

個々の経験や知識・特技を活かし、楽しいまちを創造する「観光サポーター」を募集しました。観光サポーターは、前年度選定した7つの重点施策地区を中心に、各地域特性に合った創作観光メニューの企画立案を行いました。さらに、テーマ別に組織を再編成し、「まち歩き(ガイド)」「イベント・祭り」「ブランド商品づくり」「情報戦略」の4つのテーマで、「各地域の魅力を向上すること」を目的に、地域の方々と共に創作観光メニューを実施しました。

・観光サポーター登録者：81名

②人材育成プログラム

観光サポーターを中心に観光まちづくりの意識醸成のための講演会・セミナーを実施しました。また、都内の事例を視察しました。

項目	実施日	内容
皇居周辺観光ガイド育成セミナー	11月26日(日)	「大江戸絵巻を歩く～皇居の緑と景観美～」講師:大崎清見氏(元宮内庁庭園課長)
観光まちづくり講演会	2月19日(月)	「光を観せる観光の考え方」講師:佐藤喜子光氏(立教大学観光学部教授) 「大都市における観光まちづくりのあり方」講師:米原亮三氏(東京都産業労働局参事)
しながわ視察	3月3日(土)	「しながわ観光協会の事業説明」 「ガイドしながわによるまち歩き体験」
観光まちづくり情報戦略セミナー	3月12日(月)	「観光情報メディア利用について」講師:峰松 隆広氏(共同 PR)
ハッピーロード大山商店街視察	3月17日(土)	「ハッピーロード大山商店街振興組合の事業説明(ふるさとイベント、地方との連携)」
観光まちづくりガイドセミナー	3月22日(木)	「おもてなし、接し方、外国人交流」講師:澤 功氏(澤の屋旅館)

観光まちづくり ブランドセミナー	3月24日 (土)	「観光まちづくりとブランディング」 講師:森門 教尊氏(博報堂ブランドコンサルティング)
---------------------	--------------	---

(2) 地域ブランドの形成

9, 547, 224円

(当初予算額 10, 000, 000円)

千代田の各地域の魅力を積極的にPRするため、平成17年度実施した観光モニター調査や観光プロジェクトチームによる観光資源の抽出、観光おすすめルート等を元に、観光資源の状況を把握し、狭域版観光雑誌を共同出版しました。

項 目	実 施 内 容
①狭域版観光雑誌 「るるぶ千代田 神田 丸の内 秋葉原」 の発行	平成18年7月1日に発行。 (主な掲載記事内容) 観光プロジェクトチームによる お薦めモデルコース及スポットの紹介。 ・千代田区の祭と花 ・千代田区グルメ ・千代田区のうんちく ・千代田区の地名の由来、文化財等 ・各エリアガイド 等

るるぶ 神田 丸の内 秋葉原

江戸東京の真ん中で見る・食べる・遊ぶ!

ガード下の名店、江戸前そば、老舗の手みやげ

「通」が唸る千代田区の味

大人も楽しめる社会科見学に行こう!

オススメ散歩コース Best 6

丸の内・大手町 丸の内新4大ビルおすすめダイニング
日比谷・有楽町 ふるさとアンテナショップ大集合
永田町・霞ヶ関 5分でわかる霞ヶ関中央省庁ダイジェスト
市ヶ谷・麹町 絶対食べたい! 極上スイーツ
お茶の水・神保町 古書店主がナビ 神保町古書店街
神田・秋葉原 はじめてのメイドカフェ遊び

880円 JTBパブリッシング

▲ 「るるぶ千代田 神田 丸の内 秋葉原」

Ⅱ 地域コミュニティ活性化支援

(1) 江戸天下祭の周知促進

17,053,238円

(当初予算額 16,820,000円)

江戸開府400年記念事業の主要な事業として開催し、その後隔年での継続開催が決定した「江戸天下祭」を、これまで2回実施しましたが、開催時期が定着していないこともあり、未開催年においても、認知度の向上に努める必要があります。また、山車祭りを行なっている都市などの関連各団体との交流を維持・継続していくため、10月23日(月)～29日(日)に「江戸天下祭」の華である山車人形の展示及び複合型イベントを象徴するウォーキングイベント等を開催し、周知促進を図りました。

- ・来場者数：山車人形・神輿展示丸ビル会場 42,000人
- 江戸登城ウォーク 1,319人
- お江戸寄合フォーラム 300人
- お江戸～ん 280人 計43,899人

(2) 他団体共催・後援支援

7,502,699円

(当初予算額 8,900,000円)

他団体が主催する事業で、コミュニティの活性化に寄与する事業に対し、共催または後援の名義を与え、必要に応じて経費の一部を支援しました。

事業名	実施日	主催者
つまごい祭り	7月29日	群馬県嬲恋村
丸の内野球大会	7月30日～8月27日	都内グラウンド
きやどっこまつり	8月15日	秋田県五城目町
丸の内音頭大盆踊り大会	8月18・19日	日比谷公園丸の内大盆踊り大会実行委員会
長岡市・防災体験	9月1日	旧今川中学校
東京JAZZ	9月2日～3日	東京国際フォーラム
東京マラソン記念グリーンリボンキャンペーン	2月15日～18日	丸の内ビルディング

Ⅲ 区の花さくらの再生

(1) 基金の管理・運営

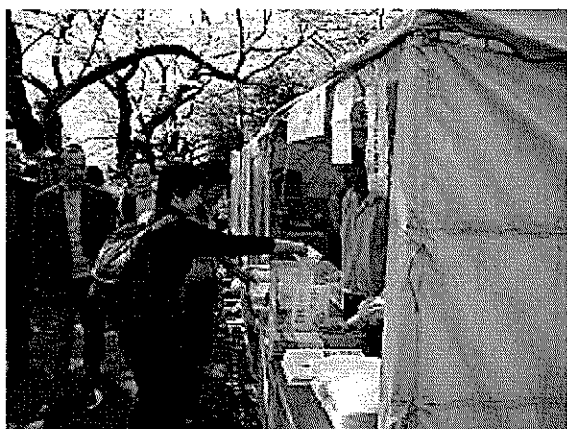
17,016,690円

(当初予算額 1,000,000円)

千代田区内のさくら景観を保存し、後世に残していく目的で、平成16年3月に千代田区が策定した「区の花さくら再生計画」を実現するため、「千代田区さくら基金」が創設されました。この基金の管理を行い、区内のさくら管理者、NPO・ボランティア団体に対して助成を行いました。なお、助成を受ける受益者の募集、選定、助成金の決定は、千代田区が行いました。

平成18年度は、さくら基金及び当財団のPRのために、「さくら飴」を配布しました。

・平成18年度末基金残高：30,865,393円



▲さくら基金の募金活動

4 情報・交流

～双方向型の情報の共有と交流の促進～

I 情報の受発信機能の充実

- (1) まちみらいニュースの発行 3, 365, 063円
(当初予算額 7, 647, 000円)

地域活動やまちづくり活動、財団事業などを、地域の幅広い人々に伝える「まちみらいニュース」を、年12回(毎月5日)発行しました。

- 発行部数：53, 000部(カラー1ページ)／回
- 発行方法：区広報紙の最終面に掲載。新聞折込および郵送(賛助会員)

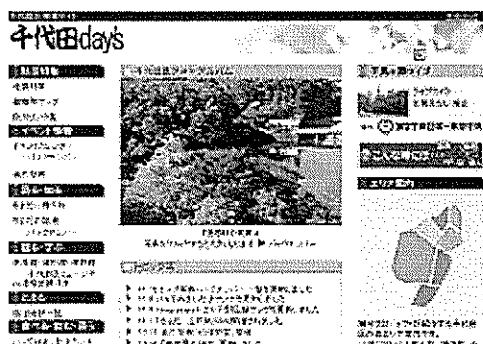
- (2) 地域ポータルサイト・ホームページの拡充・運用 6, 146, 246円
(当初予算額 8, 918, 000円)

区民等の参加型による地域ポータルサイト「千代田day's」を情報発信の起点として、千代田区ならではの魅力を内外に発信しました。また、千代田フォトアルバムへの投稿を幅広く呼びかけた結果、区内の写真同好会(大手町写楽会、神田研光会、千代田写真クラブ、番町写真会)の方から千代田区の四季を感じさせる写真が多数寄せられました。

さくらが咲く時期には、「千代田day's」の画面デザインをさくらバージョンにして、千代田区の最も充実したさくら情報発信サイトとして、多くのアクセスを集めました。

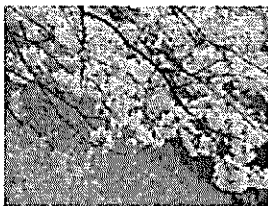
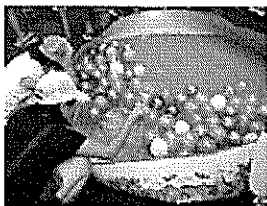
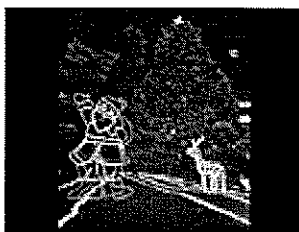
- ・アクセス数(平成19年3月29日) 11, 106ページビュー/日

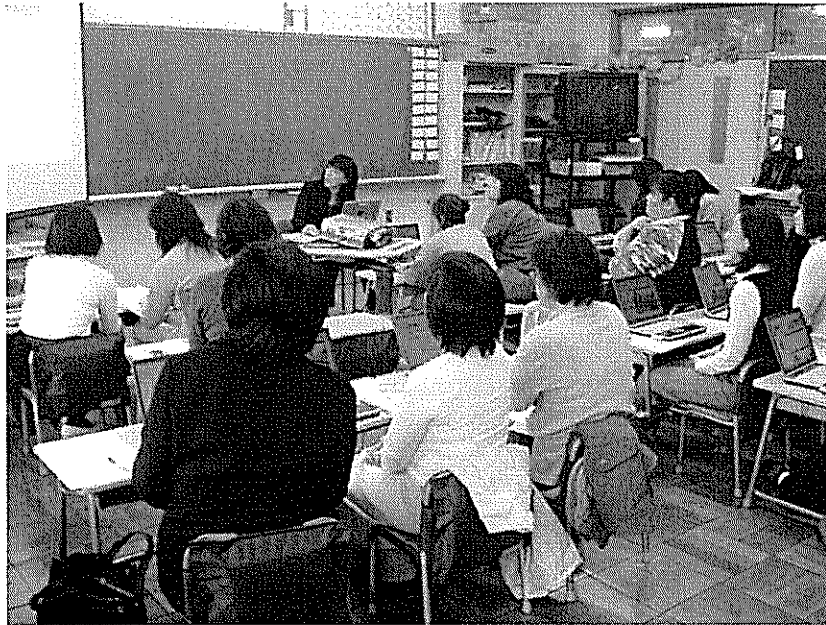
地域SNSコミュニティ「ちょっぴー」については、その利用促進を図るため、小学校のPTAの方々を対象に操作説明会を行いました。会員数1, 917名、コミュニティ数219数に拡大しました。また、この地域SNSがきっかけで、長岡お祭りに神田明神の神輿が参加するなど、人と人との交流が活発化しました。



▲千代田day's

「千代田 d a y ‘ s」の特徴的なメニュー

	概 要
①千代田フォトアルバム	千代田フォトアルバムは千代田区民等の方からの投稿により更新されています。千代田区での四季の移り変わりや街の日常風景などにより、千代田の魅力を多くの方々に伝えました。 <春>  <夏>  <秋>  <冬> 
②ちよだに肩入れ	連合町会長をはじめ、千代田区を元気にするため活動している方々（11名）の魅力を紹介しました。
③イルミネーション特集サイト	投稿があったイルミネーション写真をもとに、イルミネーションスポットやイベント情報を発信しました。
④さくら大特集	さくらプロジェクトとして、区と連携し、さくら関連の充実した情報を一括して発信しました。 お花見マップ、さくらカレンダーやお店情報などを特集してイベントを盛り上げました。



▲「ちょっぴー」操作説明会

(3) 地域メディアのあり方検討

0円

(当初予算額 1, 500, 000円)

区民等の情報伝達・収集手段について、多様な地域メディアの特性に応じた活用方法やそのあり方について検討を予定していましたが、平成17年度の検討において本年度に予定していた成果が得られましたので、本年度は実施しませんでした。

(4) Akiba-i (秋葉原駅周辺駐車場案内システム) の維持管理

748, 854円

(当初予算額 0円)

パソコンや携帯電話から、秋葉原駅周辺の駐車場の空き情報などを参照できる「秋葉原駅周辺駐車場案内システム」を、国土交通省の受託事業として平成17年度に整備しましたが、この駐車場案内システムの維持管理を行いました。

Ⅱ 交流の促進

(1) 賛助会員との連携強化

124,266円
(当初予算額 1,378,000円)

当財団のサポーターである賛助会員との関係を強化するため、当財団の事業活動に関する情報を、まちみらいニュース等の送付により定期的に提供しました。さらに、賛助会員企業を個別に訪問し財団の活動について意見を聴取するなど、連携の強化に努めました。

(2) まちづくり講演会の実施（執行額及び予算額は(1)賛助会員との連携強化に含まれます。）

平成18年度は、まちづくり講演会に替えて、まちづくり施設見学会を2回実施しました。まちづくり施設見学会では、普段見ることのできないビジネス街の防災・環境対策などの現場に直接触れられる機会を提供しました。

◇まちづくり施設見学会

	テーマ	日時	場所	参加者
1	丸の内エリアにおける 環境防災施設見学	平成18年 11月28日(火)	丸の内エリア	27名
2	公共建築の特徴～ 環境と防災の取り組み	平成19年 3月19日(月)	千代田区新庁舎	35名



▲ 環境防災施設見学

Ⅲ 区民との交流活動の支援

(1) 外国人との交流

798,199円

(当初予算額 899,000円)

区民と外国人との相互理解を深め、国際交流を図る目的で、料理教室・日本文化の学習会・バスハイクといった外国人との交流会を実施しました。

テーマ	日 時	開催場所	参加者数
三味線と民謡	6月25日	内神田住宅1階集会室	49名
バスピクニック	9月10日	千葉県鴨川市	72名
もちつき	11月12日	千代田区役所食堂前	66名
豆腐料理	3月4日	内神田社会教育会館料理室	37名

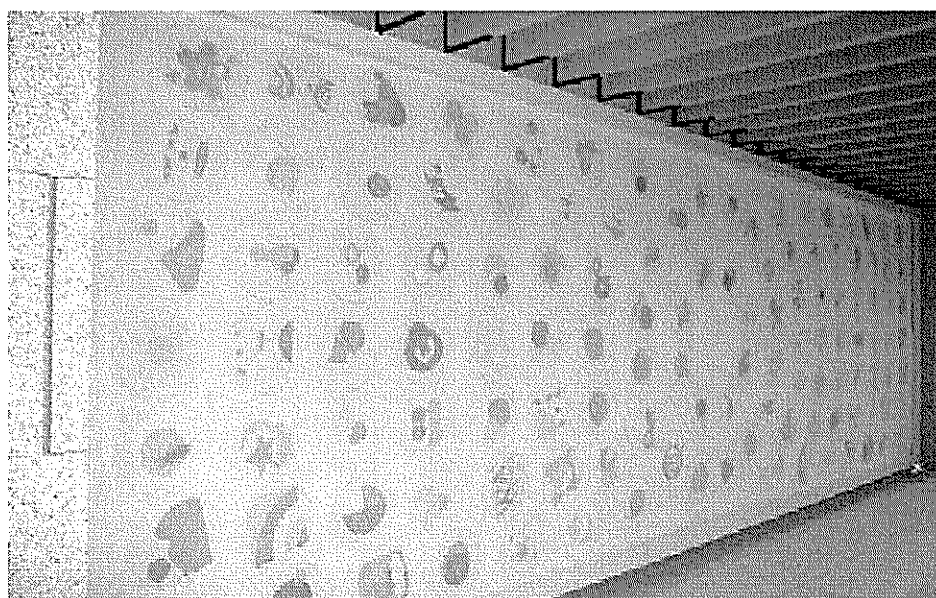
(2) ワークショップへの支援

6,520,758円

(当初予算額 0円)

千代田区役所新庁舎が多くの区民や利用者に親しまれ、交流の場となるための取り組みの一つとして、千代田区と連携し、区内小学生児童をはじめ一般公募参加者による「創作和紙」ワークショップを実施しました。作成した和紙は大きなタピストリーの「光壁」として仕上げ、1階エレベーターホール前や10階図書館等に設置しました。

※ 参加者数 ・アーティスト・イン・スクール：488名
・アーティスト・イン・レジデンス：162名



▲新庁舎を飾る「光壁」

5 遊休施設の活用推進 ～街づくりハウス“アキバ”の活用～

(1) 遊休施設活用の推進

77,000円
(当初予算額 0円)

街づくりハウス“アキバ”跡地の今後の活用方策について検討を進め、公募によって活用事業者を募集することとしました。このため、事業者の選考を行うための事業者選考委員会（委員長：根本裕二東洋大学大学院教授）を立ち上げ、募集要項の検討等を行いました。

なお、街づくりハウス“アキバ”は、平成18年10月から12月にかけて区によって解体が行われ、更地は所有者である区が管理しています。



▲街づくりハウス“アキバ”の跡地

【住宅事業特別会計】

借上型区民住宅の管理運営

(1) 借上型区民住宅の管理運営 409,827,033円
(当初予算額 430,186,000円)

区単独型借上型区民住宅及び特優賃型借上型区民住宅の管理運営業務を実施しました。

〔管理住宅〕

住宅の区分	管理戸数
区単独型 6 住宅	93 戸 (他に職員住宅10戸)
特優賃型 4 住宅	59 戸

【借上型区民住宅】

- ・区単独型…千代田区単独の事業として、区の補助を受けて建設された民間賃貸住宅を、所有者から財団が借上げ、主に中堅所得者層を対象として供給する住宅
- ・特優賃型…国庫補助事業である特定優良賃貸住宅制度を活用して、国・東京都・千代田区の補助を受けて建設された民間賃貸住宅を所有者から財団が借上げ、主に中堅所得者層を対象として供給する住宅

＜当財団の前身である「街づくり推進公社」は、特定優良賃貸住宅制度により供給された住宅の管理をするに必要な、東京都住宅基本条例第9条に基づく指定法人として指定を、平成9年5月27日付けで東京都知事から受けています。＞

理事会・評議員会・監査

寄附行為第24条及び第33条に基づき開催した理事会及び評議員会は、次のとおりであり、各議事について、可決及び承認を得ました。

(1) 理事会の開催状況

回数	開催年月日	番号	件名
第1回	平成18年 5月24日	議案第1号	平成17年度財団法人まちみらい千代田事業報告について
		議案第2号	平成17年度財団法人まちみらい千代田収支決算について
		議案第3号	平成18年度財団法人まちみらい千代田収支補正予算(案)について
第2回	平成18年 10月17日	議案第1号	財団法人まちみらい千代田評議員の選任について
		議案第2号	平成18年度財団法人まちみらい千代田収支補正予算(案)について
		議案第3号	財団法人まちみらい千代田処務規程他1件の一部改正について
		報告事項	財団法人まちみらい千代田事業進捗状況について
第3回	平成19年 2月23日	議案第1号	財団法人まちみらい千代田寄附行為の変更について

回数	開催年月日	番 号	件 名
第 3 回	平成 1 9 年 2 月 2 3 日	議案第 2 号	財団法人まちみらい千代田評議員の選任について
		議案第 3 号	平成 1 8 年度財団法人まちみらい千代田収支補正予算（案）について
		議案第 4 号	平成 1 9 年度財団法人まちみらい千代田事業計画（案）について
		議案第 5 号	平成 1 9 年度財団法人まちみらい千代田収支予算（案）について
		議案第 6 号	財団法人まちみらい千代田理事長の選任について
		議案第 7 号	財団法人まちみらい千代田副理事長の選任について
		専決事項	財団法人まちみらい千代田就業規則他 1 件の一部改正について

（２）評議員会の開催状況

回 数	開催年月日	番 号	件 名
第 1 回	平成 1 8 年 5 月 2 3 日	議案第 1 号	財団法人まちみらい千代田理事の選任について
		議案第 2 号	平成 1 7 年度財団法人まちみらい千代田事業報告について
		議案第 3 号	平成 1 7 年度財団法人まちみらい千代田収支決算について

回 数	開催年月日	番 号	件 名
第 1 回		議案第 4 号	平成 1 8 年度財団法人まちみらい千代田収支補正予算（案）について
第 2 回	平成 1 8 年 1 0 月 1 0 日	議案第 1 号	財団法人まちみらい千代田理事の選任について
		議案第 2 号	平成 1 8 年度財団法人まちみらい千代田収支補正予算（案）について
		報告事項	財団法人まちみらい千代田事業進捗状況について
第 3 回	平成 1 9 年 2 月 2 0 日	議案第 1 号	財団法人まちみらい千代田寄附行為の変更について
		議案第 2 号	財団法人まちみらい千代田理事及び監事の選任について
		議案第 3 号	平成 1 8 年度財団法人まちみらい千代田収支補正予算（案）について
		議案第 4 号	平成 1 8 年度財団法人まちみらい千代田事業計画（案）について
		議案第 5 号	平成 1 8 年度財団法人まちみらい千代田収支予算（案）について
		専決事項	財団法人まちみらい千代田就業規則他 1 件の一部改正について

(3) 監査の実施

財団法人まちみらい千代田監査規程第3条第1項第1号の規定により実施しました。

実施日 平成18年5月16日(火)

場 所 財団法人まちみらい千代田 4階A会議室

内 容 (1) 平成17年度財団法人まちみらい千代田事業報告
(2) 平成17年度財団法人まちみらい千代田収支決算

以上、いずれも適正と認められました。

Ⅱ 平成18年度 収支決算書

I-1. 貸借対照表 総括表

平成19年3月31日現在

(単位:円)

科 目	一般会計	住宅管理事業 特別会計	経営基盤安定基金 特別会計	合計
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	164,725,890	20,284,951	136,935,837	321,946,678
未収金	10,103,375	16,238,460		26,341,835
前払金	2,363,000			2,363,000
仮払金	10,000,000			10,000,000
流動資産合計	187,192,265	36,523,411	136,935,837	360,651,513
2 固定資産				
(1) 基本財産				
投資有価証券	1,040,000,000			1,040,000,000
基本財産合計	1,040,000,000	0	0	1,040,000,000
(2) 特定資産				
出資出損助成積立資産	30,800,000			30,800,000
敷金預り金積立資産	4,092,000			4,092,000
さくら基金積立資産	30,867,393			30,867,393
コミュニティ事業積立資産	12,083,679			12,083,679
誘導協力金積立資産	10,780,000			10,780,000
家賃支払準備金積立資産		16,000,000		16,000,000
敷金		17,954,400		17,954,400
敷金積立資産		80,342,500		80,342,500
特定資産合計	88,623,072	114,296,900	0	202,919,972
(3) その他の固定資産				
什器備品	1,300,600			1,300,600
投資有価証券			399,757,095	399,757,095
その他の固定資産合計	1,300,600	0	399,757,095	401,057,695
固定資産合計	1,129,923,672	114,296,900	399,757,095	1,643,977,667
資産の部合計	1,317,115,937	150,820,311	536,692,932	2,004,629,180
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	59,537,633	7,820,775		67,358,408
前受金	3,331,900			3,331,900
預り金	1,472,795	13,752,248		15,225,043
仮受け金	0	10,000,000		10,000,000
流動負債合計	64,342,328	31,573,023	0	95,915,351
2 固定負債				
敷金預り金	4,092,000	85,342,500		89,434,500
固定負債合計	4,092,000	85,342,500	0	89,434,500
負債の部合計	68,434,328	116,915,523	0	185,349,851
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
区補助金	1,000,000,000			1,000,000,000
受取り寄付金	50,780,000			50,780,000
指定正味財産合計	1,050,780,000	0	0	1,050,780,000
(うち基本財産への充当額)	(1,040,000,000)			(1,040,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(10,780,000)			(10,780,000)
2 一般正味財産				
(うち特定資産への充当額)	197,901,609	33,904,788	536,692,932	768,499,329
(うち特定資産への充当額)	(77,843,072)	(114,296,900)		(192,139,972)
正味財産合計	1,248,681,609	33,904,788	536,692,932	1,819,279,329
負債及び正味財産合計	1,317,115,937	150,820,311	536,692,932	2,004,629,180

I - 2. 正味財産増減計算書総括表

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	住宅管理事業 特別会計	経営基盤安定基金 特別会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
[1] 経常収益				
(1) 基本財産運用益	12,991,210			12,991,210
(2) 受取会費	6,240,000			6,240,000
(3) 事業収益	43,008,000	204,549,288		247,557,288
(4) 受取補助金等	199,727,880	201,718,258		401,446,138
(5) 受取負担金	10,237,645			10,237,645
(6) 受取寄付金	7,265,706			7,265,706
(7) 雑収益	6,232,847	66,520	1,676,156	7,975,523
(8) 他会計からの繰入額	114,294,921			114,294,921
経常収益計	399,998,209	406,334,066	1,676,156	808,008,431
[2] 経常費用				
(1) 事業費	272,908,110			272,908,110
(2) 管理費	90,338,921			90,338,921
(3) 区単独型借上型区民住宅事業費		247,722,647		247,722,647
(4) 特優貸型借上型区民住宅事業費		157,904,644		157,904,644
(5) 他会計からの繰出額			114,294,921	114,294,921
経常費用計	363,247,031	405,627,291	114,294,921	883,169,243
当期経常増減額	36,751,178	706,775	△ 112,618,765	△ 75,160,812
2 経常外増減の部				
[1] 経常外費用				
経常外費用計	2,787,600			2,787,600
当期経常外増減額	△ 2,787,600	0	0	△ 2,787,600
当期一般正味財産増減額	33,963,578	706,775	△ 112,618,765	△ 77,948,412
一般正味財産期首残高	163,938,031	33,198,013	649,311,697	846,447,741
一般正味財産期末残高	197,901,609	33,904,788	536,692,932	768,499,329
II 指定正味財産増減の部				
受取り預金収益	10,780,000			10,780,000
当期指定正味財産増減額	10,780,000	0	0	10,780,000
指定正味財産期首残高	1,040,000,000	0	0	1,040,000,000
指定正味財産期末残高	1,050,780,000	0	0	1,050,780,000
III 正味財産期末残高	1,248,681,609	33,904,788	536,692,932	1,819,279,329

I-3. 財務諸表に対する注記

当期から公益法人会計基準（平成16年10月14日公益法人等の指導に関する関係省庁連絡会議申し合わせ）を採用した。

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ①満期保有目的の債券については、移動平均法に基づく原価法を採用している。なお、重要性の原則により償却原価法を採用していない。
- (2) 固定資産の減価償却方法
 - ①固定資産の減価償却は、定率法によっている。ただし、従来減価償却を行っていなかった固定資産は、新会計基準適用初年度に、期首の帳簿額を取得価格として適用初年度から実施することとした。
 - ②この減価償却を実施する際に適用する耐用年数は、新規に取得した場合の耐用年数によっている。
- (3) 消費税等の会計処理方法
 - ①消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
一般会計				
基本財産有価証券（国債・政府保証債）	797,724,383	750,000		798,474,383
基本財産定期預金	242,525,617		750,000	241,525,617
基本財産小計	1,040,000,000	750,000	750,000	1,040,000,000
特定資産				
一般会計				
出資出捐助成積立資金	30,800,000			30,800,000
敷金預り金積立資産	4,092,000			4,092,000
さくら基金積立資産	40,060,975	12,444,812	21,638,394	30,867,393
コミュニティ事業積立資産	23,903,679		11,820,000	12,083,679
誘導協力金積立資産		10,780,000		10,780,000
特定資産小計	98,856,654	23,224,812	33,458,394	88,623,072
合計	1,138,856,654	23,974,812	34,208,394	1,128,623,072

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
一般会計				
基本財産有価証券（国債・政府保証債）	798,474,383	(798,474,383)		
基本財産定期預金	241,525,617	(241,525,617)		
基本財産小計	1,040,000,000	(1,040,000,000)		
特定資産				
一般会計				
出資出捐助成積立資金	30,800,000		(30,800,000)	
敷金預り金積立資産	4,092,000		(4,092,000)	
さくら基金積立資産	30,867,393		(30,867,393)	
コミュニティ事業積立資産	12,083,679		(12,083,679)	
誘導協力金積立資産	10,780,000	(10,780,000)		
特定資産小計	88,623,072	(10,780,000)	(77,841,072)	
合計	1,128,623,072	(1,050,780,000)	(77,841,072)	

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得金額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,971,205	670,605	1,300,600
合計	1,971,205	670,605	1,300,600

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科目	帳簿価格	時価	評価損益
基本財産			
第59回利付国庫債権（20年）	798,724,383	288,358,646	△ 10,365,737
第241回利付国庫債権（10年）	499,750,000	501,199,275	1,449,275
基本財産小計	798,474,383	789,557,921	△ 8,916,462
特定資産			
第242回利付国債（2年）	300,000,000	299,673,000	△ 327,000
政府保証第65回預金保険機構債権	99,757,095	99,725,173	△ 31,922
その他小計	399,757,095	399,398,173	△ 358,922
合計	1,198,231,478	1,188,956,094	△ 9,275,384

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
一般会計補助金	千代田区	0	227,266,850	227,266,850	0	
住宅会計補助金	千代田区	0	205,918,000	205,918,000	0	
合計		0	433,184,850	433,184,850	0	

- (1) 一般会計補助金の当期減少額には、区補助金返納金52,403,270円を含む。
- (2) 住宅会計補助金の当期減少額には、区補助金返納金4,199,742円を含む。

I - 4. 財 産 目 録

平成19年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
1 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金			
普通預金			
みずほ銀行公務第一部121(一般口)	69,682,526		
みずほ銀行公務第一部164(給与口)	0		
みずほ銀行公務第一部172(預り金口)	3,346,832		
みずほ銀行東京都庁出張所(家守塾口)	1,986,546		
みずほ銀行九段支店(賛助会費口)	57,296,038		
みずほ銀行九段支店(秋葉原駐車場管理口)	1,312,385		
三菱東京UFJ銀行神保町支店(賛助会費口)	16,063,499		
三井住友銀行神田支店(賛助会費口)	9,633,031		
みずほ信託銀行本店(賛助会費口)	549,193		
東京都民銀行神田支店(賛助会費口)	1,198,925		
東日本銀行飯田橋支店(賛助会費口)	1,099,643		
興産信用金庫秋葉原支店(賛助会費口)	2,557,272		
みずほ銀行公務第一部623(住宅事業口)	28,270		
みずほ銀行公務第一部658(家賃口)	1,447,754		
みずほ銀行公務第一部631(敷金口)	4,979,546		
みずほ銀行公務第一部427(共益費口)	13,829,381		
みずほ銀行公務第一部428(経営基盤基金口)	136,935,837		
未収金	26,341,835		
前払金	2,363,000		
仮払金	10,000,000		
流動資産合計		360,651,513	
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券			
基本財産有価証券			
国債(第59回利付国庫債券(20年))	298,724,383		
国債(第241回利付国庫債券(10年))	499,750,000		
基本財産定期預金			
みずほ銀行公務第一部(コ-ラフ-定期)	241,053,220		
みずほ銀行公務第一部195(ス-ハ'-定期)	472,397		
基本財産合計	1,040,000,000		
(2) 特定資産			
出資出損助成積立資産			
出資出損助成積立資産			
みずほ銀行公務第一部902(大口定期)	30,800,000		
敷金預り金積立資産			
敷金預り金積立資産			
みずほ銀行公務第一部425(ス-ハ'-定期)	4,092,000		
さくら基金積立資産			
さくら基金積立資産			
みずほ信託銀行本店(金銭信託口座ひかり)	30,865,393		
みずほ銀行東京都庁出張所(基金寄附金口)	2,000		
コミュニティ事業積立資産			
コミュニティ事業積立資産			
みずほ銀行公務第一部902(大口定期)	12,083,679		
誘導協力金積立資産			
誘導協力金積立資産			

科 目	金 額		
みずほ銀行公務第一部(121)	10,780,000		
敷金	17,954,400		
保証金			
敷金積立資産			
敷金積立資産			
みずほ銀行公務第一部209(大口定期)	80,342,500		
家賃支払準備金積立資産			
家賃支払準備金積立資産			
みずほ銀行公務第一部875(大口定期)	16,000,000		
特定資産合計	202,919,972		
(3) その他固定資産			
什器備品	1,300,600		
投資有価証券			
投資有価証券			
国債(第242回利付国庫債券(2年))	300,000,000		
政府保証債(第65回預金保険機構債券(4年	99,757,095		
敷金積立資産			
敷金積立預金			
その他固定資産合計	401,057,695		
固定資産合計		1,643,977,667	
資産部合計			2,004,629,180

Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
一般会計区補助金返納金	52,403,270		
住宅事業特別会計区補助金の返納金	4,199,742		
防犯機器設置費助成	2,088,000		
マンションカルテ等更新調査委託	1,239,000		
その他	7,428,396		
前受金			
旧中小企業センタービル事業賃借収入	2,949,700		
下島ビル(ベンチャー企業育成センター)事業賃借収入	382,200		
預り金			
財団職員社会保険料預り金	509,032		
財団職員所得税預り金	429,838		
財団職員住民税預り金	129,900		
共益費残り預金への振り替え	1,791,710		
その他	12,364,563		
仮受金			
家賃支払い準備金	10,000,000		
流動負債合計		95,915,351	
2 固定負債			
敷金預り金	89,434,500		
固定負債合計		89,434,500	
負債部合計			185,349,851
正味財産			1,819,279,329

I－5. 収支計算書総括表
平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位：円)

科 目 大 中 小	一般会計	住宅管理事業 特別会計	経営基盤安定基金 特別会計	合計
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	12,991,210			12,991,210
(2) 会費収入	6,240,000			6,240,000
(3) 事業収入	66,220,150	204,549,288		270,769,438
(4) 補助金等収入	239,699,000	205,918,000		445,617,000
(5) 負担金収入	10,237,645			10,237,645
(6) 繰入金収入	114,294,921			114,294,921
(7) 寄付金収入	7,265,706			7,265,706
(8) 雑収入	6,232,847	66,520	1,676,156	7,975,523
事業活動収入計	463,181,479	410,533,808	1,676,156	875,391,443
2 事業活動支出				
(1) 事業費支出	272,908,110	405,627,291		678,535,401
(2) 繰入金支出			114,294,921	114,294,921
(3) 管理費支出	89,668,316			89,668,316
(4) 区補助金収入返納金	52,403,270	4,199,742		56,603,012
事業活動支出計	414,979,696	409,827,033	114,294,921	939,101,650
事業活動収支差額	48,201,783	706,775	△ 112,618,765	△ 63,710,207
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入	33,458,394	96,416,300		129,874,694
(2) 敷金・保証金収入		1,582,800		1,582,800
(3) 経営基盤安定基金積立預金取崩収入			155,267,422	155,267,422
投資活動収入計	33,458,394	97,999,100	155,267,422	286,724,916
2 投資活動支出				
(1) 特定資産支出	23,224,812	112,379,400	7,741	135,611,953
(2) 敷金・保証金返済支出		1,619,700		1,619,700
投資活動支出計	23,224,812	113,999,100	7,741	137,231,653
投資活動収支差額	10,233,582	△ 16,000,000	155,259,681	149,493,263
III 予備費支出				
当期収支差額	58,435,365	△ 15,293,225	42,640,916	85,783,056
前期繰越収支差額	64,414,572	20,243,613	94,294,921	178,953,106
次期繰越収支差額	122,849,937	4,950,388	136,935,837	264,736,162

Ⅱ－１．貸 借 対 照 表（一般会計）

平成19年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	164,725,890		
未収金	10,103,375		
前払金	2,363,000		
仮払金	10,000,000		
流動資産合計	187,192,265		
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	1,040,000,000		
基本財産合計	1,040,000,000		
(2) 特定資産			
出資出損助成積立資産	30,800,000		
敷金預り金積立資産	4,092,000		
さくら基金積立資産	30,867,393		
コミュニティ事業積立資産	12,083,679		
誘導協力金積立資産	10,780,000		
特定資産合計	88,623,072		
(3) その他の固定資産			
什器備品	1,300,600		
その他固定資産合計	1,300,600		
固定資産合計	1,129,923,672		
資産部合計	1,317,115,937		
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	59,537,633		
前受金	3,331,900		
預り金	1,472,795		
流動負債合計	64,342,328		
2 固定負債			
敷金預り金	4,092,000		
固定負債合計	4,092,000		
負債部合計	68,434,328		
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
区補助金	1,000,000,000		
受取り寄付金	50,780,000		
指定正味財産合計	1,050,780,000		
（うち基本財産への充当額）	(1,040,000,000)		
（うち特定資産への充当額）	(10,780,000)		
2 一般正味財産			
（うち特定資産への充当額）	197,901,609		
（うち特定資産への充当額）	(77,843,072)		
正味財産合計	1,248,681,609		
負債及び正味財産合計	1,317,115,937		

（注）「運用指針」により、新「会計基準」適用初年度につき、前年度の金額は記載していない。

Ⅱ－２．正味財産増減計算書（一般会計）

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
[1] 経常収益			
(1) 基本財産運用益	12,991,210		
基本財産受取利息	2,675,943		
基本財産受取配当金	10,315,267		
(2) 受取会費	6,240,000		
賛助会員受取会費	6,240,000		
(3) 事業収益	43,008,000		
不動産貸付事業収益	38,782,800		
講座・セミナー事業収益等	4,225,200		
(4) 受取補助金等	199,727,880		
区補助金	187,295,730		
受託事業収益	12,432,150		
(5) 受取負担金	10,237,645		
(6) 受取寄付金	7,265,706		
募金収益	7,265,706		
(7) 雑収益	6,232,847		
受取利息	146,734		
雑収益	6,086,113		
(8) 他会計からの繰入額	114,294,921		
経営基盤安定基金特別会計からの繰入額	114,294,921		
経常収益計	399,998,209		
[2] 経常費用			
(1) 事業費	272,908,110		
人件費	179,702,977		
役員報酬	19,563,560		
給料手当	139,217,585		
通勤手当	4,140,363		
福利厚生費	16,781,469		
事業管理費	1,738,216		
旅費交通費	980,905		
消耗品費	341,656		
渉外費	137,270		
支払助成金	100,000		
その他	178,385		
まちづくり推進事業費	18,071,898		
通信運搬費	769,113		
消耗品費	415,392		
諸謝金	818,240		
支払負担金	193,100		
委託費	15,865,493		
その他	10,560		
支援事業費	66,159,967		
旅費交通費	1,728,090		
通信運搬費	344,751		
消耗品費	1,099,472		
渉外費	651,878		
修繕費	300,000		
印刷製本費	1,561,665		
諸謝金	1,883,000		

科目	当年度	前年度	増減
支払負担金	25,145,207		
支払助成金	19,659,714		
委託費	13,581,520		
その他	204,670		
広報費	7,235,052		
通信運搬費	287,247		
支払負担金	2,853,461		
委託費	4,023,973		
その他	70,371		
(2) 管理費	90,338,921		
人件費	36,049,927		
役員報酬	11,146,200		
給料手当	21,011,022		
通勤手当	669,912		
福利厚生費	3,222,793		
管理運営費	54,288,994		
会議費	175,557		
旅費交通費	322,680		
通信運搬費	1,148,918		
減価償却費	670,605		
消耗品費	2,072,666		
渉外費	605,843		
印刷製本費	1,624,984		
光熱水費	18,842,652		
賃借料	13,093,692		
諸謝金	1,104,000		
租税公課	9,751,000		
支払負担金	464,420		
手数料	734,745		
委託費	3,312,126		
工事請負費	273,000		
その他	92,106		
経常費用計	363,247,031		
当期経常増減額	36,751,178		
2 経常外増減の部			
[1] 経常外費用			
什器備品除却損	2,787,600		
経常外費用計	2,787,600		
当期経常外増減額	△ 2,787,600		
当期一般正味財産増減額	33,963,578		
一般正味財産期首残高	163,938,031		
一般正味財産期末残高	197,901,609		
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取り預金収益	10,780,000		
当期指定正味財産増減額	10,780,000		
指定正味財産期首残高	1,040,000,000		
指定正味財産期末残高	1,050,780,000		
Ⅲ 正味財産期末残高	1,248,681,609		

(注) 「運用指針」により、新「会計基準」適用初年度につき、前年度の金額は記載していない。

Ⅱ－3. 収 支 計 算 書（一般会計）

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

（単位：円）

大 中 小	科 目	当初予算額	補正予算額	予備費および 流用増減額	予算現額	決算額	差異	備考
I	事業活動収支の部							
1	事業活動収入							
(1)	基本財産運用収入	3,872,000	0	0	3,872,000	12,991,210	△ 9,119,210	
(2)	会費収入	7,500,000	0	0	7,500,000	6,240,000	1,260,000	
	賛助会費収入	7,500,000	0	0	7,500,000	6,240,000	1,260,000	
(3)	事業収入	43,635,000	108,447,000	0	152,082,000	66,220,150	85,861,850	
	不動産賃貸事業収入	38,784,000	0	0	38,784,000	38,782,800	1,200	
	受託事業収入	1,500,000	7,938,000	0	9,438,000	12,432,150	△ 2,994,150	
	誘導協力金収入	0	98,480,000	0	98,480,000	10,780,000	87,700,000	
	講座・セミナー事業収入等	3,351,000	2,029,000	0	5,380,000	4,225,200	1,154,800	
(4)	補助金等収入	244,699,000	0	0	244,699,000	239,699,000	5,000,000	
	区補助金収入	244,699,000	0	0	244,699,000	239,699,000	5,000,000	
(5)	負担金収入	10,337,000	0	0	10,337,000	10,237,645	99,355	
(6)	繰入金収入	116,551,000	0	0	116,551,000	114,294,921	2,256,079	
	経営基盤安定基金特別会計繰入金収入	116,551,000	0	0	116,551,000	114,294,921	2,256,079	
(7)	寄付金収入	0	8,000,000	0	8,000,000	7,265,706	734,294	
	募金収入	0	8,000,000	0	8,000,000	7,265,706	734,294	
(8)	雑収入	3,290,000	0	0	3,290,000	6,232,847	△ 2,942,847	
	受取利息収入	40,000	0	0	40,000	146,734	△ 106,734	
	雑収入	3,250,000	0	0	3,250,000	6,086,113	△ 2,836,113	
	事業活動収入計	429,884,000	116,447,000	0	546,331,000	463,181,479	83,149,521	
2	事業活動支出							
(1)	事業費支出	310,694,000	26,414,000	2,949,000	340,057,000	272,908,110	67,148,890	
	人件費支出	201,728,000	800,000	0	202,528,000	179,702,977	22,825,023	
	報酬支出	26,332,000	0	18,400	26,350,400	19,563,560	6,786,840	
	給料・諸手当支出	149,276,000	800,000	△ 602,852	149,473,148	139,217,585	10,255,563	
	通勤手当支出	5,600,000	0	266,984	5,866,984	4,140,363	1,726,621	
	福利厚生費支出	20,520,000	0	317,468	20,837,468	16,781,469	4,055,999	
	事業管理費支出	2,711,000	0	0	2,711,000	1,738,216	972,784	
	旅費交通費支出	650,000	0	330,905	980,905	980,905	0	
	消耗品費支出	600,000	0	△ 177,000	423,000	341,656	81,344	
	渉外費支出	500,000	0	△ 330,905	169,095	137,270	31,825	
	助成金支出	0	0	100,000	100,000	100,000	0	
	その他	961,000	0	77,000	1,038,000	178,385	859,615	
	調査研究費支出	1,500,000	0	0	1,500,000	0	1,500,000	

大 中 小	科 目	当初予算額	補正予算額	予備費および 流用増減額		予算現額	決算額	差異	備考
大 中 小	まちづくり推進事業費支出	36,462,000	5,929,000	△ 4,076,835		37,414,165	18,071,898	19,342,267	
	通信運搬費支出	95,000	1,031,000	△ 905		1,125,095	769,113	355,982	
	消耗品費支出	624,000	258,000	575,173		1,457,173	415,392	1,041,781	
	諸謝金支出	1,360,000	0	137,000		1,497,000	818,240	678,760	
	負担金支出	0	0	193,100		193,100	193,100	0	
	委託料支出	33,900,000	2,812,000	△ 4,990,923		31,721,077	15,865,493	15,855,584	
	その他	483,000	928,000	9,720		1,420,720	10,560	1,410,160	
	支援事業費支出	56,938,000	20,585,000	7,025,835		84,548,835	66,159,967	18,388,868	
	旅費交通費支出	641,000	210,000	1,033,050		1,884,050	1,728,090	155,960	
	通信運搬費支出	1,041,000	84,000	28,608		1,153,608	344,751	808,857	
	消耗品費支出	2,005,000	284,000	△ 4,863		2,284,137	1,099,472	1,184,665	
	渉外費支出	350,000	441,000	720,899		1,011,899	651,878	360,021	
	修繕費支出	300,000	0	0		300,000	300,000	0	
	印刷製本費支出	3,282,000	396,000	87,565		3,705,565	1,561,665	2,143,900	
	諸謝金支出	4,518,000	420,000	0		4,938,000	1,883,000	3,055,000	
	負担金支出	5,140,000	16,447,000	3,598,334		25,185,334	25,145,207	40,127	
	助成金支出	24,800,000	0	13,515		24,813,515	19,659,714	5,153,801	
	委託料支出	14,136,000	2,100,000	2,399,232		18,635,232	13,581,520	5,053,712	
	その他	725,000	263,000	△ 350,505		637,495	204,670	432,825	
	広報費支出	11,355,000	0	0		11,355,000	7,235,052	4,119,948	
	通信運搬費支出	1,023,000	0	△ 34,900		988,100	287,247	700,853	
	負担金支出	4,800,000	0	0		4,800,000	2,853,461	1,946,539	
	委託料支出	4,724,000	0	0		4,724,000	4,023,973	700,027	
	その他	808,000	0	34,900		842,900	70,371	772,529	
	(2) 管理費支出	111,010,000	0	6,435,000		117,445,000	89,668,316	27,776,684	
	人件費支出	58,356,000	0	0		58,356,000	36,049,977	22,306,023	
	報酬支出	13,582,000	0	0		13,582,000	11,146,200	2,405,800	
	給料・諸手当支出	37,926,000	0	0		37,926,000	21,011,022	16,914,978	
	通動手当支出	1,200,000	0	0		1,200,000	669,912	530,088	
	福利厚生費支出	5,678,000	0	0		5,678,000	3,222,793	2,455,207	
	管理運営費支出	82,654,000	0	6,435,000		59,089,000	53,618,389	5,470,611	
	会議費支出	30,000	0	145,557		175,557	175,557	0	
	旅費交通費支出	344,000	0	0		344,000	322,680	21,320	
	通信運搬費支出	1,733,000	0	0		1,733,000	1,148,918	584,082	
	消耗品費支出	1,360,000	0	785,534		2,145,534	2,072,666	72,868	
	渉外費支出	700,000	0	0		700,000	605,843	94,157	
	印刷製本費支出	1,229,000	0	413,466		1,642,466	1,624,984	17,482	
	光熱水費支出	19,524,000	0	△ 474,000		19,050,000	18,842,652	207,348	

大 中 小	科 目	当初予算額	補正予算額	予備費および 流用増減額	予算現額	決算額	差異	備考
	賃借料支出	14,214,000	0	△ 19,557	14,194,443	13,093,692	1,100,751	
	諸謝金支出	630,000	0	474,000	1,104,000	1,104,000	0	
	租税公課支出	5,358,000	0	4,400,000	9,758,000	9,751,000	7,000	
	負担金支出	934,000	0	△ 308,745	625,255	464,420	160,835	
	手数料支出	426,000	0	308,745	734,745	734,745	0	
	委託料支出	672,000	0	2,640,126	3,312,126	3,312,126	0	
	工事諸費支出	5,300,000	0	△ 1,930,126	3,369,874	273,800	3,096,074	
	その他	200,000	0	0	200,000	92,106	107,894	
	(3) 区補助金収入返納金	0	0	0	0	52,403,270	△ 52,403,270	
	事業活動支出計	421,704,000	26,414,000	9,384,000	457,502,000	414,979,696	42,522,304	
	事業活動収支差額	8,180,000	90,033,000	△ 9,384,000	88,829,000	48,201,783	40,627,217	
Ⅱ	投資活動収支の部							
1	投資活動収入							
(1)	特定預金取崩収入							
	コミュニティ事業積立預金取崩収入	11,820,000	14,447,000	0	26,267,000	33,458,394	△ 7,191,394	
	さくら基金積立預金取崩収入	11,820,000	0	0	11,820,000	11,820,000	0	
		0	14,447,000	0	14,447,000	21,638,394	△ 7,191,394	
	投資活動収入計	11,820,000	14,447,000	0	26,267,000	33,458,394	△ 7,191,394	
2	投資活動支出							
(1)	特定預金支出							
	さくら基金積立預金支出	0	104,480,000	0	104,480,000	23,224,812	81,255,188	
	さくら基金積立預金支出	0	6,000,000	0	6,000,000	12,444,812	△ 6,444,812	
	譲渡協力金積立支出	0	98,480,000	0	98,480,000	10,780,000	87,700,000	
	投資活動支出計	0	104,480,000	0	104,480,000	23,224,812	81,255,188	
	投資活動収支差額	11,820,000	△ 90,033,000	0	△ 78,213,000	10,233,582	△ 88,446,582	
Ⅲ	予備費支出	20,000,000	0	△ 9,384,000	10,616,000	—	10,616,000	
	当期収支差額	0	0	0	0	58,435,365	△ 58,435,365	
	前期繰越収支差額	0	0	0	0	64,414,572	△ 64,414,572	
	次期繰越収支差額	0	0	0	0	122,849,937	△ 122,849,937	

Ⅲ－１．貸 借 対 照 表（住宅管理事業特別会計）

平成19年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	20,284,951		
未収金	16,238,460		
流動資産合計	36,523,411		
2 固定資産			
(i) 特定資産			
家賃支払準備積立資産	16,000,000		
敷金	17,954,400		
敷金積立資産	80,342,500		
特定資産合計	114,296,900		
固定資産合計	114,296,900		
資産部合計	150,820,311		
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	7,820,775		
預り金	13,752,248		
仮受金	10,000,000		
流動負債合計	31,573,023		
2 固定負債			
敷金預り金	85,342,500		
固定負債合計	85,342,500		
負債部合計	116,915,523		
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	33,904,788		
（うち特定資産への充当額）	(114,296,900)		
正味財産合計	33,904,788		
負債及び正味財産合計	150,820,311		

（注）「運用指針」により、新「会計基準」適用初年度につき、前年度の金額は記載していない。

Ⅲ－２．正味財産増減計算書（住宅管理事業特別会計）

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
(1) 事業収益	204,549,288		
区単独型借上型区民住宅事業収益	126,577,920		
家賃収益	109,164,900		
共益費収益	17,413,020		
特優貸型借上型区民住宅事業収益	77,971,368		
家賃収益	59,467,400		
共益費収益	7,078,290		
建物維持費預り収益	4,337,278		
住宅事業収益	7,088,400		
(2) 受取補助金等	201,718,258		
区補助金	201,718,258		
(3) 雑収益	66,520		
受取利息	66,520		
経常収益計	406,334,066		
(2) 経常費用			
(1) 区単独型借上型区民住宅事業費	247,722,647		
印刷製本費	426,090		
賃借料	246,322,980		
手数料	195,704		
委託費	630,000		
その他	147,873		
(2) 特優貸型借上型区民住宅事業費	157,904,644		
消耗品費	1,507,864		
賃借料	141,777,600		
手数料	186,898		
委託費	14,206,412		
その他	225,870		
経常費用計	405,627,291		
当期経常増減額	706,775		
2 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0		
当期一般正味財産増減額	706,775		
一般正味財産期首残高	33,198,013		
一般正味財産期末残高	33,904,788		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	0		
指定正味財産期末残高	0		
III 正味財産期末残高	33,904,788		

（注）「運用指針」により、新「会計基準」適用年度につき、前年度の金額は記載していない。

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(單位：門)

大 中 小	科 目	当初予算額	補正予算額	予備費および 流用増減額		予算現額	決算額	差異	備考
1	事業活動収支の部								
1	事業活動収入								
(1)	事業収入								
	区単独型借上型区民住宅事業収入	204,613,000	0			204,613,000	204,549,288	63,712	
	家賃収入	125,929,000	0			125,929,000	126,577,920	△ 648,920	
	共益費収入	106,254,000	0			106,254,000	109,164,900	△ 2,910,900	
	建物維持費預り収入	17,574,000	0			17,574,000	17,413,020	160,980	
	特設貸型借上型区民住宅事業収入	2,101,000	0			2,101,000	0	2,101,000	
	家賃収入	78,684,000	0			78,684,000	77,971,368	712,632	
	共益費収入	58,503,000	0			58,503,000	59,467,400	△ 964,400	
	建物維持費預り収入	8,766,000	0			8,766,000	7,078,290	1,687,710	
	住宅事業収入	4,326,000	0			4,326,000	4,337,278	△ 11,278	
(2)	補助金収入	7,089,000	0			7,089,000	7,088,400	600	
	区補助金収入	205,918,000	0			205,918,000	205,918,000	0	
	管理事務費補助金収入	205,918,000	0			205,918,000	205,918,000	0	
	家賃減額補助金収入	8,910,000	0			8,910,000	8,910,000	0	
(3)	雑収入	197,008,000	0			197,008,000	197,008,000	0	
	雑収入	175,000	0			175,000	66,520	108,480	
	受取利息収入	175,000	0			175,000	66,520	108,480	
	事業活動収入計	410,706,000	0			410,706,000	410,533,808	172,192	
2	事業活動支出								
(1)	事業費支出								
	借上型区民住宅事業費支出	410,531,000	0			410,531,000	405,627,291	4,903,709	
	区単独型借上型区民住宅事業費支出	410,531,000	0			410,531,000	405,627,291	4,903,709	
	印刷製本費支出	248,091,000	0			248,091,000	247,722,647	368,353	
	賃借料支出	500,000	0			500,000	426,090	73,910	
	手数料支出	245,094,000	0			245,094,000	246,322,980	20	
	委託料支出	213,000	0			213,000	195,704	17,296	
	その他	1,000,000	0			797,000	630,000	167,000	
	特設貸型借上型区民住宅事業費支出	1,284,000	0			258,000	147,873	110,127	
	消耗品費支出	162,440,000	0			162,440,000	157,904,644	4,535,356	
	賃借料支出	363,000	0			1,508,000	1,507,864	136	
	手数料支出	141,777,000	0			141,778,000	141,777,600	400	
	手数料支出	141,000	0			187,000	186,898	102	

大 中 小	科 目	当初予算額	補正予算額	予備費および 流用増減額	予算現額	決算額	差異	備考
	委託料支出	18,305,000	0	△ 1,192,000	17,113,000	14,206,412	2,906,588	
	その他	1,854,000	0	0	1,854,000	225,870	1,628,130	
	(2) 区補助金収入返納金	0	0	0	0	4,199,742	△ 4,199,742	
	区補助金収入返納金	0	0	0	0	4,199,742	△ 4,199,742	
	事業活動支出計	410,531,000	0	0	410,531,000	409,827,033	703,967	
	事業活動収支差額	175,000	0	0	175,000	706,775	△ 531,775	
Ⅱ	投資活動収支の部							
1	投資活動収入							
	(1) 特定資産取崩収入	17,740,000	395,000	0	18,135,000	96,416,300	△ 78,281,300	
	家賃支払準備金積立預金取崩収入	16,000,000	0	0	16,000,000	16,000,000	0	
	敷金預金積立取崩収入	1,740,000	395,000	0	2,135,000	80,416,300	△ 78,281,300	
	(2) 敷金・保証金収入	1,740,000	867,000	0	2,607,000	1,582,800	1,024,200	
	敷金・保証金収入	1,740,000	867,000	0	2,607,000	1,582,800	1,024,200	
	投資活動収入計	19,480,000	1,262,000	0	20,742,000	97,999,100	△ 77,257,100	
2	投資活動支出							
	(1) 特定資産支出	17,740,000	867,000	0	18,607,000	112,379,400	△ 93,772,400	
	家賃支払準備金積立預金支出	16,000,000	0	0	16,000,000	32,000,000	△ 16,000,000	
	敷金積立預金支出	1,740,000	867,000	0	2,607,000	80,379,400	△ 77,772,400	
	(2) 敷金・保証金返済支出	1,740,000	395,000	0	2,135,000	1,619,700	515,300	
	敷金・保証金返済支出	1,740,000	395,000	0	2,135,000	1,619,700	515,300	
	投資活動支出計	19,480,000	1,262,000	0	20,742,000	113,999,100	△ 93,257,100	
	投資活動収支差額	0	0	0	0	△ 16,000,000	16,000,000	
	予備費支出	175,000	0	0	175,000	—	175,000	
Ⅲ	当期収支差額	0	0	0	0	△ 15,293,225	15,293,225	
	前期繰越収支差額	0	0	0	0	20,243,613	△ 20,243,613	
	当期繰越収支差額	0	0	0	0	4,950,388	△ 4,950,388	

Ⅳ－１．貸 借 対 照 表（経営基盤安定基金特別会計）

平成18年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	136,935,837		
流動資産合計	136,935,837		
2 固定資産			
(i) その他固定資産			
投資有価証券	399,757,095		
その他固定資産合計	399,757,095		
固定資産合計	399,757,095		
資産部合計	536,692,932		
II 正味財産の部			
1 一般正味財産	536,692,932		
正味財産合計	536,692,932		
負債及び正味財産合計	536,692,932		

（注）「運用指針」により、新「会計基準」適用初年度につき、前年度の金額は記載していない。

Ⅳ－２．正味財産増減計算書（経営基盤安定基金特別会計）

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
[1] 経常収益			
(i) 雑収益	1,676,156		
受取利息	1,676,156		
経常収益計	1,676,156		
[2] 経常費用			
(i) 他会計への繰出額	114,294,921		
一般会計への繰出額	114,294,921		
経常費用計	114,294,921		
当期経常増減額	△ 112,618,765		
2 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0		
当期一般正味財産増減額	△ 112,618,765		
一般正味財産期首残高	649,311,697		
一般正味財産期末残高	536,692,932		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	0		
指定正味財産期末残高	0		
III 正味財産期末残高	536,692,932		

（注）「運用指針」により、新「会計基準」適用初年度につき、前年度の金額は記載していない。

IV-3. 収 支 計 算 書 (経営基盤安定基金特別会計)

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位：円)

大 中 小	科 目	当初予算額	補正予算額	予備費および 流用増減額	予算現額	決算額	差異	備考
I	事業活動収支の部							
1	事業活動収入							
(1)	雑収入	2,000,000	0	0	2,000,000	1,676,156	323,844	
	受取利息収入	2,000,000	0	0	2,000,000	1,676,156	323,844	
	事業活動収入計	2,000,000	0	0	2,000,000	1,676,156	323,844	
2	事業活動支出							
(1)	管理費支出	50,000	0	0	50,000	0	50,000	
	手数料支出	50,000	0	0	50,000	0	50,000	
(2)	雑入金支出	116,551,000	0	0	116,551,000	114,294,921	2,256,079	
	一般会計への繰入金支出	116,551,000	0	0	116,551,000	114,294,921	2,256,079	
	事業活動支出計	116,601,000	0	0	116,601,000	114,294,921	2,306,079	
	事業活動収支差額	△ 114,601,000	0	0	△ 114,601,000	△ 112,618,765	△ 1,982,235	
II	投資活動収支の部							
1	投資活動収入							
(1)	特定預金取崩収入	116,551,000	0	0	116,551,000	155,267,422	△ 38,716,422	
	経営基盤安定基金積立預金取崩収入	116,551,000	0	0	116,551,000	155,267,422	△ 38,716,422	
	投資活動収入計	116,551,000	0	0	116,551,000	155,267,422	△ 38,716,422	
2	投資活動支出							
(1)	特定預金支出	1,950,000	0	0	1,950,000	7,741	1,942,259	
	経営基盤安定基金積立金支出	1,950,000	0	0	1,950,000	7,741	1,942,259	
	投資活動支出計	1,950,000	0	0	1,950,000	7,741	1,942,259	
	投資活動収支差額	114,601,000	0	0	114,601,000	155,259,681	△ 40,658,681	
	当期収支差額	0	0	0	0	42,640,916	△ 42,640,916	
	前期繰越収支差額	0	0	0	0	94,294,921	△ 94,294,921	
	次期繰越収支差額	0	0	0	0	136,935,837	△ 136,935,837	

Ⅲ 平成18年度 監査報告書

監 査 報 告 書

平成19年5月16日

財団法人まちみらい千代田
理事長 長 田 貴 雄 様

財団法人まちみらい千代田

監 事

中 垣



監 事

落 納



財団法人まちみらい千代田寄附行為第12条及び同財務規程第22条の規定に基づき、平成18年4月17日付18発第32号をもって、理事長から監査に付された平成18年4月1日から平成19年3月31日までの平成18年度における職務の執行に関して監査を行いました。その結果について、監査規程第5条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 監査の実施日及び場所

- (1) 実施日 平成19年5月16日(水)
- (2) 場 所 財団法人まちみらい千代田内

2 監査の対象

- (1) 平成18年度財団法人まちみらい千代田事業報告書
- (2) 平成18年度財団法人まちみらい千代田収支決算書

3 監査方法

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて決算書類の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査については、浅古事務局長から資料により報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。

4 監査の結果

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、財産目録、収支計算書は、会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況及び財産状況を正確に示していることを認めます。
- (2) 理事の業務執行は、法人の寄附行為及び事業計画に基づき、業務は適正に執行されていると認めます。